

# 定期作況報告

(第3号 平成16年7月20日現在)  
北海道立上川農業試験場

## 1. 気象概況

6月下旬：最高気温は平年より2.8 高く、最低気温も平年より3.6 高かった。降水量は平年より40mm多かった。降水日数は平年より2日多かった。日照時間は平年より16.9時間少なく、平年対比68%であった。夏日（最高気温25 以上）は7日間であった。

7月上旬：最高気温は平年より1.3 低く、最低気温も平年より1.4 低かった。降水量は平年より17mm多かった。降水日数は平年より2日多かった。日照時間は平年より17.8時間少なく、平年対比51%であった。夏日は3日間であった。

7月中旬：最高気温は平年より0.5 高く、最低気温も平年より0.4 高かった。降水量は平年より29mm少なかった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より3.5時間多く、平年対比108%であった。真夏日（最高気温30 以上）は1日、夏日は5日間であった。

6月下旬から7月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温( )	26.1	23.3	2.8	22.5	23.8	1.3	26.0	25.5	0.5	24.8	24.2	0.6
最低気温( )	15.9	12.3	3.6	13.1	14.4	1.3	16.0	15.6	0.4	15.0	14.1	0.9
平均気温( )	20.6	17.5	3.1	17.7	18.8	1.1	20.5	20.2	0.3	19.6	18.9	0.7
降水量(mm)	60	20	40	56	39	17	20	49	29	136	108	28
降水日数(日)	5	3	2	6	4	2	4	5	1	15	12	3
日照時間(h)	35.9	52.8	16.9	18.2	36.0	17.8	49.6	46.1	3.5	103.7	134.9	31.2

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

## 2. 作 況

### (1) 水 稲 : 平年並

事 由： 幼穂形成期は各品種・苗とも平年より5～6日早く、止葉期では各品種・苗とも平年より3日早かった。7月20日現在の主稈葉数は成苗「きらら397」が平年並、中苗「きらら397」および中苗「ほしのゆめ」は平年に比べ0.5枚程度少なかった。㎡当たり茎数は各品種・苗ともやや少なく、平年対比の茎数は中苗「きらら397」が87%、中苗「ほしのゆめ」が95%、成苗「きらら397」は87%であった。草丈は各品種・苗とも平年に比べやや長かった。

以上、㎡当たり茎数が平年よりやや少ないものの、生育期節は平年より早く進んでおり、かつ冷害危険期の低温の影響は少なかったことが考えられるため、登熟歩合が高くなることが予想される。したがって、目下の作況は「平年並」である。

表2 水稻の生育期節

品 種 苗	幼穂形成期(月・日)			止葉期(月・日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397 中苗	6.27	7. 2	5	7.15	7.18	3
ほしのゆめ 中苗	6.25	7. 1	6	7.14	7.17	3
きらら397 成苗	6.24	6.29	5	7.12	7.15	3

注1) 平年値は平成9～15年7カ年のうち平成10年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて早を示す。

3) 幼穂形成期の判定基準：全主稈幼穂長2mm

4) 止葉期：全茎の40～50%に達した日

表3 7月20日の水稻の生育

品 種 苗	主稈葉数(枚)			茎数(本/㎡)				草 丈(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら397 中苗	11.0	11.4	0.4	806	930	124	87	68.0	65.8	2.2
ほしのゆめ 中苗	10.0	10.6	0.6	878	928	50	95	73.7	70.3	3.4
きらら397 成苗	11.0	11.0	0	771	883	112	87	74.4	68.7	5.7

注1) 平年値は平成9～15年7カ年のうち平成10年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて減を示す。

(2) 秋まき小麦 : 平年並

事由： 出穂後の6月中旬～下旬が高温に経過したため生育は引き続き旺盛であったが、6月30日に40mmを越す降雨があり、両品種とも全面倒伏した。このため、成熟期は両品種とも平年より遅れた。最終的な稈長、穂長、穂数は両品種とも平年を大きく上回っているが、倒伏による千粒重、リットル重の低下が懸念される。

したがって、目下の作況は平年並である。

表4 7月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			成 熟 期 (月日)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ ホクシン	6.12	6.11	1		7.20	
	6.7	6.6	1	7.18	7.15	3

品 種 名	稈 長 (cm)			穂 長 (cm)			穂 数 (本/m <sup>2</sup> )		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
タイセツコムギ ホクシン	90	82	8	9.2	8.8	0.4	625	527	98
	91	80	11	8.9	8.4	0.5	676	593	83

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年、14年を除く5か年の平均値。

注2) 「タイセツコムギ」は、まだ成熟期に達していない。

(3) とうもろこし : やや良

事由： 6月下旬は高温に経過し生育は進んだ。7月上旬は気温はやや低めに経過し、生育はやや停滞したものの7月中旬には気温も回復したため、生育はやや進んでいる。草丈は平年を上回り、出葉数も平年よりやや多い。

したがって、目下の作況はやや良である。

表5 7月20日のとうもろこしの生育

品 種 名	抽雄期 (月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
キタユタカ P3732	7.20	7.24	4	256	231	25	17.2	16.9	0.3
		7.30		238	210	28	17.6	17.0	0.6

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年、13年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示す。

(4) 大豆 作況：平年並

事由：6月下旬は平年より高温に推移したため、開花期は平年より4日早かった。7月上旬はやや低温に推移し生育はやや停滞したが、中旬には気温は回復し、主茎長、主茎節数はほぼ平年並である。分枝数は「トヨコマチ」では平年を下回っているが、「トヨムスメ」でほぼ平年並である。

したがって、目下の作況は平年並である。

表6 7月20日の大豆の生育

品 種 名	開 花 期 (月日)		
	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	7.10	7.14	4
トヨコマチ	7.9	7.13	4

品 種 名	主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)			分 枝 数 (本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	57	54	3	10.0	10.0	0	7.1	6.9	0.2
トヨコマチ	61	60	1	10.9	10.9	0	6.2	6.9	0.7

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年(最豊)及び平成14年(最凶)を除く5カ年の平均値。

2) は平年より早、 は平年より減を示す。

(5) 小豆 作況：やや良

事由：7月上旬は低温であったが、全般に気温が平年より高めに推移したため、開花期は平年より5日～6日早まった。主茎長及び本葉数は平年を上回り、分枝数はほぼ平年並である。

したがって、目下の作況はやや良である。

表7 7月20日の小豆の生育

品 種 名	開 花 期 (月.日)		
	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	7.15	7.21	6
エリモショウズ	7.18	7.23	5

品 種 名	主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)			分 枝 数 (本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	32.9	25.0	7.9	8.6	7.1	1.5	5.5	5.3	0.2
エリモショウズ	30.7	25.0	5.7	9.1	7.5	1.6	5.2	5.2	0.0

注1) 平年値は、前8か年中平成14年(最豊)、11年(最凶)、12年(参考)を除いた5カ年の平均値。

2) は平年より早を示す。

(6) てんさい : やや良

事由: 6月下旬に入り干ばつによる生育の停滞が認められたが、6月末～7月上旬の降雨により生育は回復した。現在のところ、草丈は平年並みであるが、生葉数、根周とも平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表8 7月20日のてんさいの生育

品 種 名	草 丈 (cm)			生 葉 数 (枚/株)			根 周 (cm)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
モノホマレ	58.3	58.2	0.1	26.2	24.2	2.0	25.4	23.5	1.9

注) 平年値は、前7か年中、平成11年、15年を除く5か年の平均値。

(7) ばれいしょ : 良

事由: 気温は7月上旬はやや低めに経過したが、6月下旬は高温、7月中旬は平年並みに経過し、降水量も十分であったため、生育は順調で、茎長は平年を上回っている。

したがって、目下の作況は良である。

表9 7月20日のばれいしょの生育

品 種 名	茎 長 (cm)		
	本 年	平 年	比 較
農林1号	78.0	67.3	10.7
男爵いも	53.8	40.4	13.4

注1) 平年値は、前6か年の平均値。